

# 詩織

第十九章

絶望の狂宴 下巻

あいざわひろし

岩崎啓真

The Feast  
With Insanity And Desperation Part 2

Volume 19

For Adult



# HIGH RISK REVOLUTION





# 詩織

第十九章

絶望の狂宴 下巻

あいざわひろし

岩崎啓真

The Feast  
With Insanity And Desperation **Part 2**

Volume **19**



# The Characters in

# This Comic

## 藤崎詩織

## Shiori Fujisaki



成績優秀、スポーツにも秀でていながら、謙虚な性格で、私立K高校のアイドルと謳われた美少女。両親を交通事故で失い、一人暮らしをしている。クラスメート島田雄二の卑劣な畏に落ち、セックス奴隷として徹底的に調教される日々を送り、ついにはクラス男子の公衆便所にまで墮とされた。

クリスマスの夜、羽黒に連れ去られ、アダルトショップでセックスショーと売春をさせられ、心身共にボロボロになっていたところを救い出された。





島田雄二  
YUJI SHIMADA

成績も悪く、運動も出来ない、目立たない、どちらかというクラスの嫌われ者。親の遺品を整理しているとき見つけたSM雑誌で魅力にとり憑かれた。

島田の究極の願いは、汚れのない美しい少女を徹底的にいたぶり、汚しぬいて、自分の奴隷にすることであり、詩織がその対象になっている。詩織を犯す手際の良さと、羽黒をクビにしたことで、クラスメートに一目置かれる存在になった。クリスマスに、岩永に調教された詩織を見せ、ご機嫌になっていたところを羽黒に殴られ、大怪我をして倒れた。



羽黒孝三  
KOZO HAGURO

元・私立K高校の体育教師。島田の手引きで詩織を凌辱し、楽しんでいたが、遊び半分で詩織を売って儲かったことで、金儲けに夢中になった挙げ句、島田にハメられ、K高校を退職することになった。闇金に借金していて追い込まれ、クリスマスに島田に大けがをさせ、詩織を連れ去り、知り合いのアダルトショップで詩織にセックスショーと売春をさせて借金の返済をしていた。



岩永芳明  
YOSHIAKI IWANAGA

藤崎詩織の幼なじみで同学年。ハンサムだが、ぼんやりした性格。演劇部所属。文化祭の劇では主役を演じた。詩織と岩永は両思いだったが、クリスマスに島田に詩織のプレイを目の前で見せられ、どうすればいいのか分からなくなっている。

# 登場人物



私立K高校のアイドルと謳われる美少女、藤崎詩織は冴えないクラスメート島田雄二に薬で眠らされ、全裸写真を撮られ、ファーストキスも処女も奪われる。そして強制オナニー・野外露出・痴漢プレイ・浣腸…次々と無惨な調教を受けるのだった。



詩織は男子トイレに放置プレイされ、体育教師羽黒に犯される。そして自分の机でアナルまで犯されてしまう。夏休みが始まり、詩織は島田と岩永の3人デートを強制され、岩永の前で露出調教される。そして、その夜、詩織は島田と繋がったまま、窓越しに岩永の「好きだ」という告白を聞くのだった。



詩織はアダルトショップで売春同然のアルバイトをやらされる。その売りに上げに羽黒は詩織が金になると気がつく。島田は岩永に薬入りの酒を飲ませ、ショーで詩織とアナルセックスさせる。翌朝、島田の家で岩永は二日酔いで目を覚ます。何も覚えておらず、暴れたと言われ困惑する岩永。そのころ詩織は全ての穴を犯されながら、感じ続けていた。



詩織は、男子生徒の目前で、羽黒に性教育と称され犯される。そして文化祭の当日、美術部でエロコスプレをさせられ、岩永の劇が上演されている講堂の2階でクラスメートと島田に犯される。羽黒が退職届けを書いているとき、クラスメートの奴隷になった記念だとサンドイッチにされようとしていた…



冬休み前、詩織はクラスの公衆便所になっている。そしてクリスマス。島田は雌犬の格好をした詩織を岩永に見せびらかし激怒させるが、現れた羽黒に殴られ、詩織は連れ去られる。羽黒はアダルトショップで詩織に売春とセックスショーをさせることで金を稼いでいたが、羽黒が留守の間に、忍び込んだ島田の手で詩織は救い出される。



詩織は自殺を考えるほど精神的に追い詰められていたが、島田の告白と傷に動揺し、セックスに引き込まれてしまう。だが、そのセックスを岩永と見舞いに来た美樹原が密かに覗き見していた。そして覗きに気がついた島田に蹴り飛ばされ気絶した岩永は詩織とセックスさせられそうになるが…



これはぎつと

感動の  
シーンだねえ!!

やめろっ!

詩織!!

一生の思い出にしろよ  
岩永ア!!

やめろオツ!!

夢

ほらほら  
もつと深くして  
やれよ!

王子様のチンポが  
子宮に熱いキス  
してくれるってよお!!

ズ  
ズ  
ズ

うぐっ!

悪い夢なんだ

ポ

ポ

そうじゃなかったら  
こんなことが  
あるわけない







えらそうなこと言ってたわりには  
随分と情けないツラしてるよなあ  
岩永よお？



みろよ、あの余裕のない顔！  
おまえのおまんこ気持ちいいってさ  
よかったなあ！ 詩織！

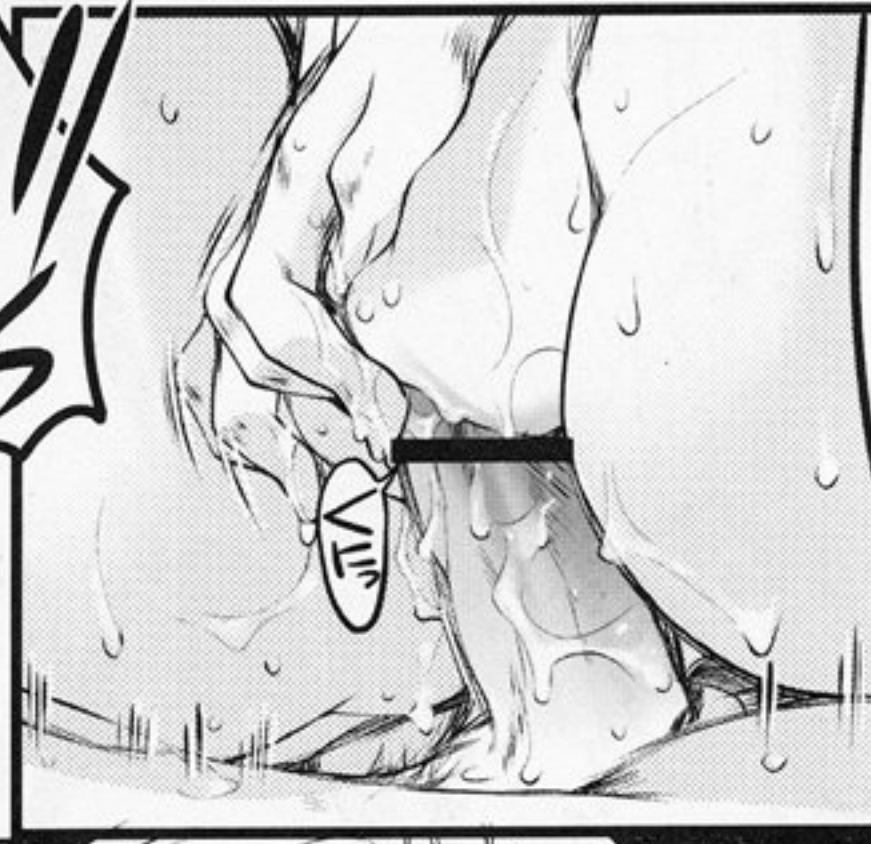


こんなこと許されるわけない！

いつまで  
我慢できるかなあ？  
くくくっ...！







そうそう  
詩織ちゃんはこのことが  
弱いんだよな



毎日、クリトリスにリングはめて  
学校に行ってたからな  
触られただけで、どこでも  
いきまくりの淫乱スイッチに  
なっちまった  
ちよつといじっただけで  
おまんこが  
きゅーっと締まるだろ？



……おまえら……  
……最……つ低……だな！

だってなあ  
こんな気持ちいいこと覚えちゃったら  
勉強なんて退屈で  
やってらんないよなあ？  
詩織ちゃん！

学校一の優等生が  
今やただのセックス大好き女  
ってわけさ

岩永と話しながら  
スカートの中  
ぐちよぐちよにしてたんだぜ？



おやおや  
お尻の穴が寂しそうだねえ  
ごめんよ、気がつかなくて！

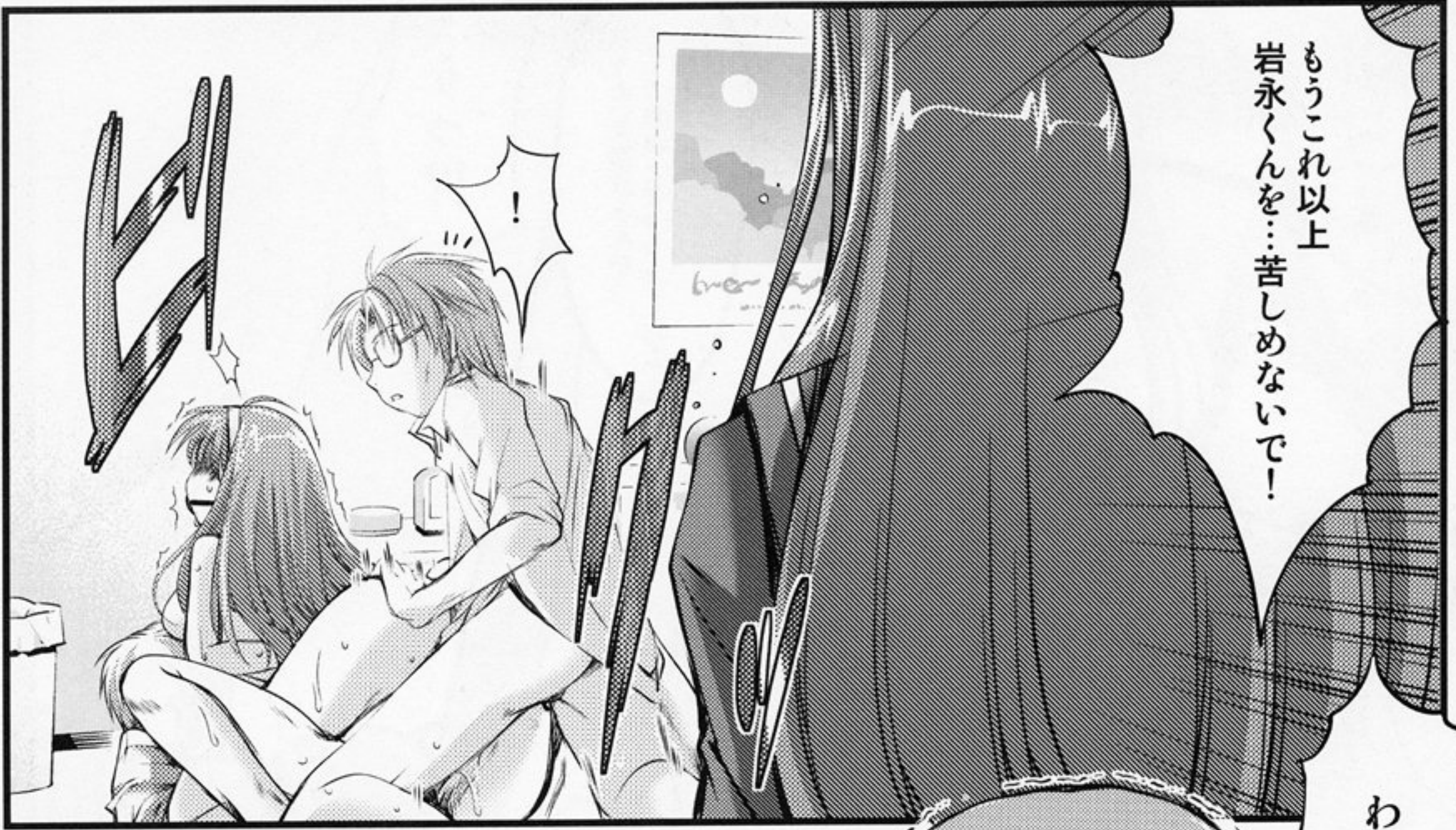
それじゃ  
どっちのチンポが  
気持ちいいか  
正直に教えてくれよ！



もう  
やめて！！



もうこれ以上  
岩永くんを…苦しめないで！



わたしが…わたしが…

メグ!!



かわりに  
なんでもしますから！

へえ…

なんでも…ね？







じゃあ、美樹原さんが  
ここで岩永とセックスしたら  
やめるよ

うっ!!

ぬ

ぽっ

ぶる

ぶる

ぶる

もちろん自分から  
上に乗っかって  
自分でちんぽを挿れるんだぜ?

そ、そんな……

わたし……  
わたし……  
で、できませんっ!!



ま、そんなことだろうと  
思ったけどね  
がっかりだなあ

じゃ、こっちで  
岩永を満足させて  
やりましょうかね!

おこぼれとはいえ  
憧れの王子様を  
堂々とモノにできる  
チャンスなのにさ



てめ……えっ!  
これ以上、人を  
バカにし……





親友に  
たっぷり見せつけてやるんだな!  
詩織!!

ぐっ!!

くそオツ!!

あっはははははっ!  
情けないなあ! 岩永!  
またまた、ずっぽりはいつちまったぜえ!

ごめんね……メグ……







全開で  
いこうぜ！



まったく  
どこまでやらしく  
成長するんだろうね  
この体は！



……くっ！  
きくっ！！

岩永のおかげで  
またアナルの感度が  
あがったみたいだな！



ああ、そろそろ  
外してやるよ

チンポ気持ちいいって  
教えてやれよ！



うれしいだろ、詩織？

岩永がきてくれるの  
ずっと待ってたんだもんなあ

本当はクリスマスのときに  
こうするはずだったのに  
帰っちゃまうんだもんなあ

うっ！

ううっ！



い…  
岩…永…くん…

ち…ちがう…っ

ちがう…の  
こ…これは



まさかオマケつきで  
きてくれるとは  
思わなかったけどね

おかげで  
面白いパーティになったよなあ！



だまれ

この





変態女!!



変態



変態



変態



だめなのにつ!!





あーっ  
あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ  
あーっ

我慢……できな……かった……

とろけた顔しやがって

いけないことなの……

二人の目の前なのに……!

どうしてこんなに……気持ちいい……の……

あ……あ……あ……

あ……

あ……

あ……あ……あ……

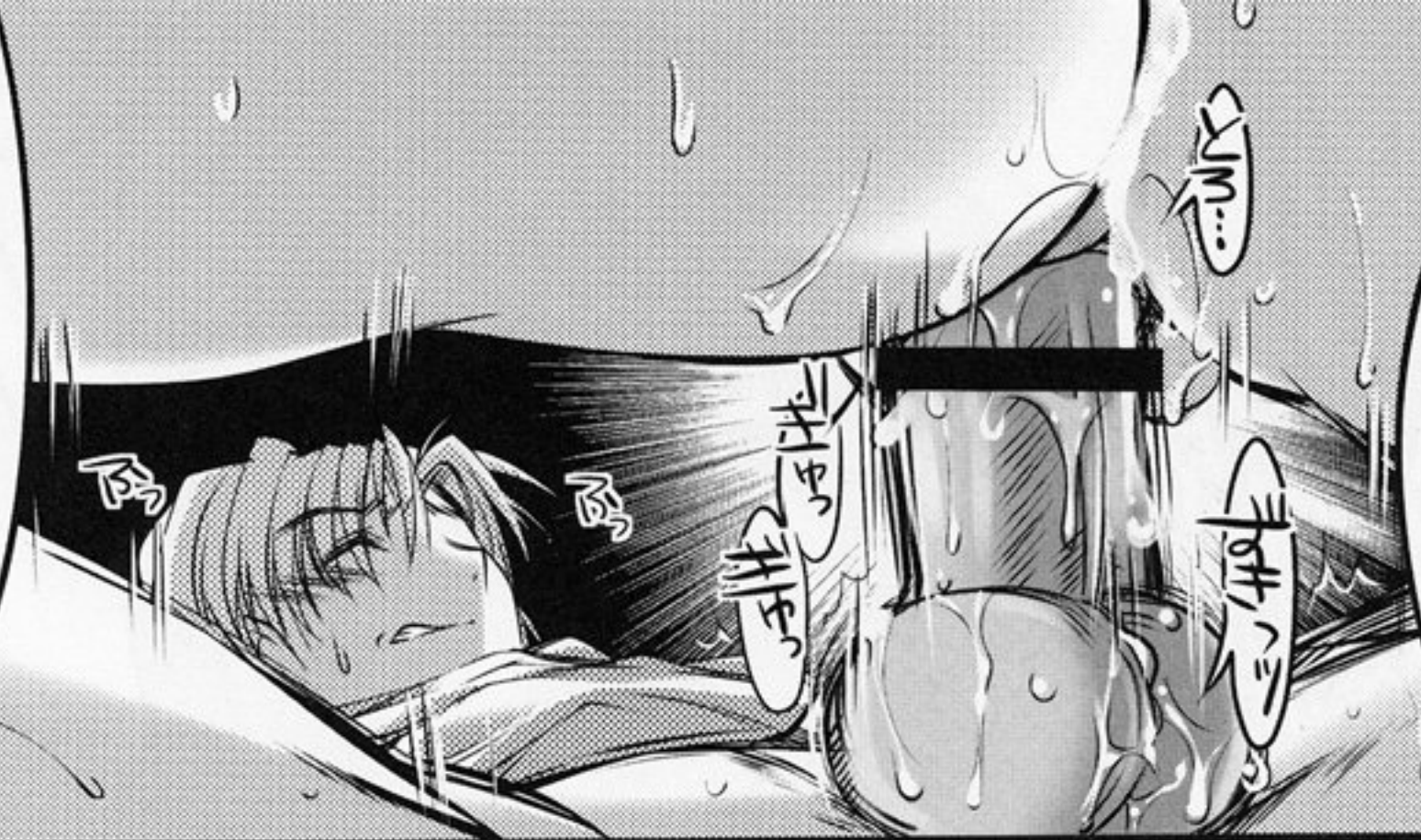




岩永は、まだ我慢してるのか

そんなことになんの意味があるんだ？

さっさとイって楽になっちゃまえよ



俺は、お前らとは違うんだ

セックスに溺れて堕落しきったお前らとはな！

ふん…

堕落…ねえ！



俺たちすっかり嫌われちゃったみたいだなあ詩織ちゃん

こんなにサービスしてあげてるのにね？

まあ、そのセリフがどこまで続くかだけど！

うぐう！！







もつと、動けよ！  
岩永のチンポこすって  
締め上げてやれよ！！

カアア

カアア

カアア

カアア



う…

ぐ…

カアア



カアア

カアア

な!?



キスでも  
してやったらどうだい？





んなわたし...でも...

ふっ...  
まるで、獣だな!

好き...です...

やっぱり...あなたが...



え?

...のか?

ほ...



きつと...これが  
最初で最後の...

キス...



ふあ...

ぬる...

...あ...





島田と

いつもこんな  
キスしてんのかよ



う...う...

ほろ

ほろ

ほろ

ひどい...



俺たちのラブラブっぷりが  
わかったたる

キスのついでに  
尻の穴もためして  
みるか？

交代してやるよ  
たぶん、すぐイっちゃまうぜ！

ふん...なにやっても  
ムダだぜ...!

尻の穴なんかで  
いくわけ

ほんとにお前  
おめでたいやつだなあ

びしょびしょ



ホントに  
何も覚えてないんだ？

初めてじゃねえんだよ！

お前はな、とつくに  
詩織とアナルセックス  
体験済みさ！

この肛門におまえの  
ザーメンたっぷり  
ぶちまけちやっつてんだよ！

ペロペロに  
酔っ払った日だよ！

なん……

おい  
詩織！！

うそ……だろ？

だと……？

ごめ……ん……なさい……

そんな……  
そんな……

そうだな

あの時!?





思い出したか？

あれは…

これでわかったら？  
お前が守ってきたと  
思い込んでたモノは

じゃ、あの夜の  
続きといくか！

尻の穴にザーメン  
たっぷりぶちまけな！  
現実を噛みしめながらな！！

もう、もう！  
やめてえええええ！！

わたしが代わりに  
やりますから！

とつくに  
壊れてたってことさ！

夢じやなかつたんだ…！！

楽しかったよなあ  
あの夜！



セ…セックスすれば  
わたしも…岩永くんも…  
帰してくれるんですよね？

あん？  
まだこの男と  
やりたいわけ？

ま、余りもので  
よければどうぞ

あんたら、ホント  
お似合いのカップルだな！

メグ！ 言うこと  
聞いちゃだめ！

この人の  
思い通りに  
なるだけよ！

あなたに  
そんなこと言う  
資格ない！

!!  
わたしが…  
岩永君のこと  
好きだって  
知ってたくせに

岩永君の気持ちだって  
わかってたくせに…  
さぞ楽しかったでしょ！

もう…わたし…  
あなたのこと  
許せない！





岩永…くんっ

私…が……

嫌な思い出せんぶ

塗りつぶして  
あげる…から…

……あ？

……んっ!!

ソッ!!



み…っ

美樹原さん!?

な  
何して……



私が…


きれいに  
あげる……ね

うあつあ…あ!





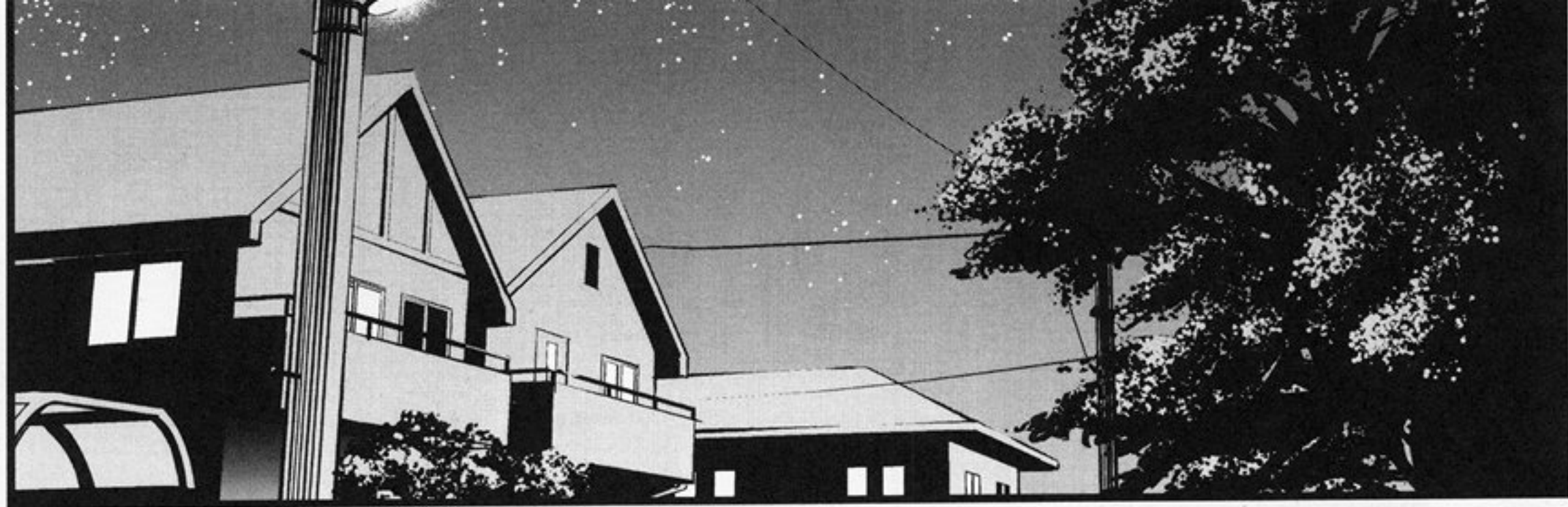




...

もうやめてええ!!

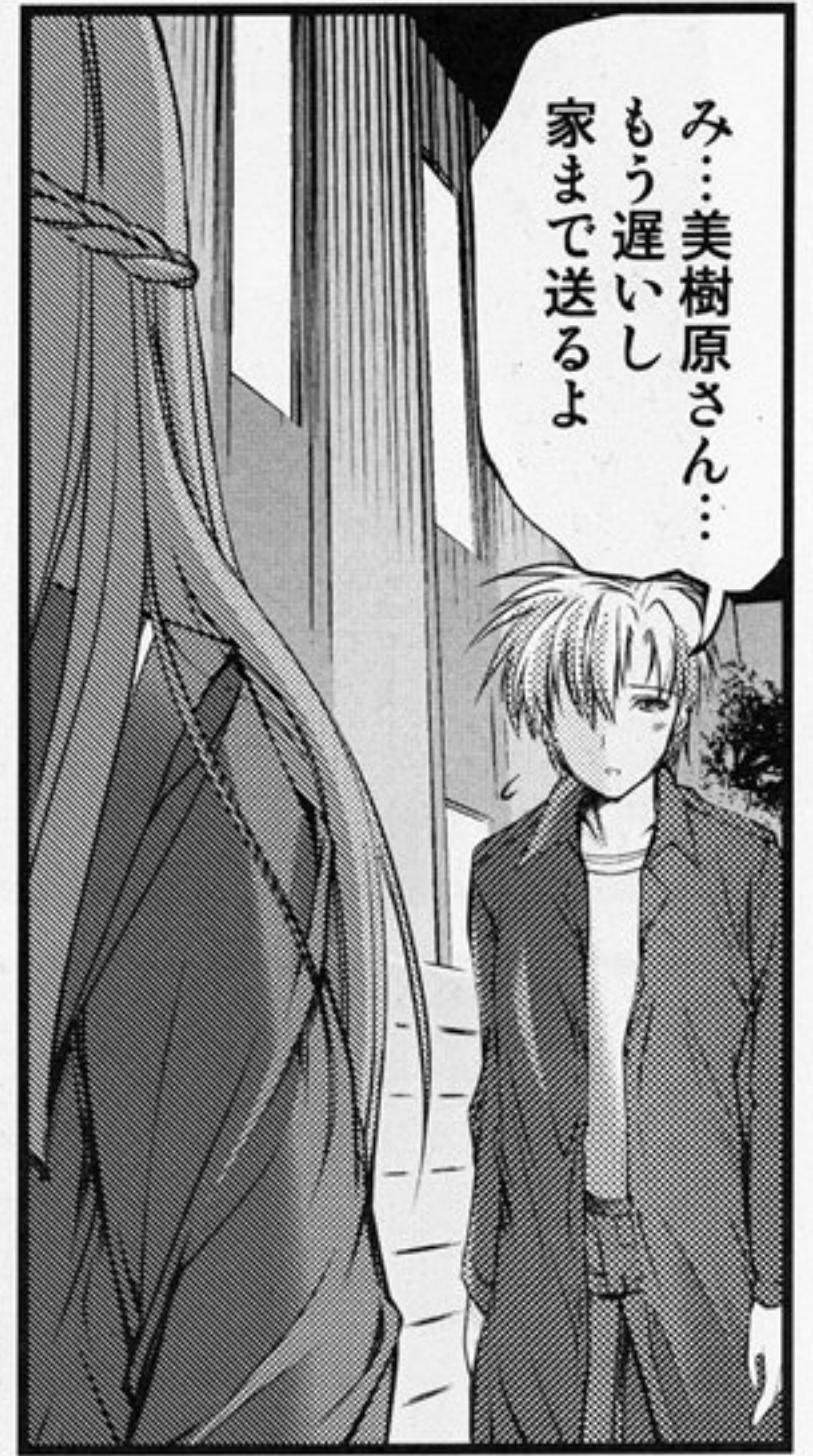




28















どうして  
あやまるのよ!!





やれやれ  
今日はお子様セックスに  
付き合ってたな  
疲れちゃったな

詩織ちゃんは  
パーティーは楽しかったかい？

あの二人  
うまくいくかなあ？

初めての相手とは  
うまくいかないって  
いうからさ

俺たちみたいに  
体の相性もバツチりなら  
心配ないんだけどねえ

岩永が相手じゃ  
美樹原さんも  
苦労しそうだな

でも  
もうこれで  
誰にも邪魔されないよ

ずっと…  
一生  
かわいがって  
あげるからね



もう——何も無い、何も

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ

このまま  
気持ちいいことだけ考えていけば

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ



わたしの居場所は

もうどこしか  
ないのかな……



*To be continued...*



**S t a f f**

作画

あいざわひろし

背景・小物

サモハン・テイーチャー

仕上げ・トーン

聖女 ダルビッシュ有

下塗りアシスタント

いまくるす

雑用

一日一回さわやかガチャ





冬に出る本編の詩織…というのに興味を持って、最後に頒布したのはいつだろうと調べてみた。

なんと最後に出たのは1995年。

晴海最後の冬のコミケで出た『詩織 第三章 闇の刻印』。

今回が19章下巻で17年経っているのだから、全く驚きだ。

というわけで、知らない人のためにチョロっとあいざわひろしの旧悪を暴いておくと、17年前に頒布された3章は、サークルの全メンバーを地獄のどん底に叩き込んだ悪夢の作品だった。

例によってスレスレで本を作った（スレスレでなかったことなど一度もない）あいざわひろしが冬コミで頒布の準備をしていると、いわゆるエロチェックに引っかかり頒布停止に！ 必死でマッキーをかき集め、友達をかき集めて、黒塗りしまくりながら頒布するって地獄の冬コミを演出してくれた、素晴らしい思い出である。と、まあジジイの繰り言は置いておいて、今回は島田の圧倒的な勝利ストーリーになっている。

全くの偶然とはいえ、島田君の立場で考えれば、こんなに気持ちのいい勝利の美酒を味わえる状況もそうそうないだろうってぐらいの圧倒的勝利だ。子安武人の声で「この島田の勝利！ フハハハハ、勝利イイイイ！」とか叫びながら、石仮面かぶりそうな勢いの勝利だ。

でもだ。僕の考えていた話では、ここまで島田勝利じゃなくて、岩永は覗き見してガックリきて帰るだけだったし、美樹原さんなんて影も形もなかった。もっと静かな話だったはずなのに、島田の「無駄無駄無駄無駄無駄アアア！」なメチャクチャな話になったのは、あいざわひろしが考えたことで、原作者には一切の責任がないのである（-`д´）ｷｯ

と、まあそんなわけで、次の詩織は来年の夏。

舞台は学校に戻り、あと3章ほどで本編は完結する予定である。

2012年12月 いわさきひろまさ

■ The Original Author



冬コミに詩織をだすなんて言わなきゃ良かった…と後悔しつつ、まあ、なんとかだすことができそうで嬉しいような、肩の荷がおりたような…まあ、とにかく安心しております。

表紙は、19章の上巻のときにラフをたくさん描いたうちの1枚をクリーンナップしてみました。今回も下巻用に新しくラフを描いたのですが、夏に描いたもののほうがイメージ通りだったんですね。イメージもすべて夏にかたまっていたということなのでしょうね。

表4はいつもの感じとは変えて、詩織と美樹原さんの思い出の1枚、という感じにしてみました。

なかなかこういうイラストを描けることもないので、逆に新鮮かなと楽しく描きました。この2人の関係はももとのゲームをやっていたら、なるほどと納得してもらえるかと思いますが、知らない人には「誰コレ？」状態だったと思います。二人の思い出の片鱗を少しでも感じていただければ嬉しいです。

途中で p22~p23 の岩永くんの回想シーンですが、これは詩織 11章~12章の出来事になります。もしお持ちの方で気になる方は読み返してみてください。(現在どちらも在庫がないので持っていない方はごめんなさい。)

今回も最後までよんでいただきありがとうございます。

新装版 2章のほうも、そろそろだしたいと思いますので、また近いうちに詩織を描けるかな…とおもいつつ、2013年もどうぞよろしくおねがいいたします。

2012年12月  
あいざわひろし





第十九章

絶望の狂宴

2012年12月29日 初版

URL <http://www.highriskrevolution.com>

e-mail [webmaster@highriskrevolution.com](mailto:webmaster@highriskrevolution.com)

印刷 株式会社大友出版印刷

禁 無断転載・コピー・アップロード